

製品名: LIM キナーゼ 2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00460**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	Calculated MW: 72 kDa; Observed MW: 72 kDa

抗原情報

遺伝子名	LIMK2
別名	LIM domain kinase 2
遺伝子 ID	3985
SwissProt ID	P53671
免疫原	ヒト LIM キナーゼ 2 の合成ペプチド

背景

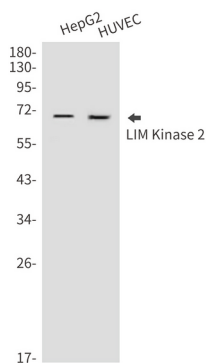
アクチンフィラメントのダイナミクス制御に重要な役割を果たすセリン/スレオニンタンパク質キナーゼ (PubMed:10436159, PubMed:11018042)。複数の Rho ファミリー GTPase シグナル伝達経路の下流に作用する (PubMed:10436159,

PubMed:11018042)。有糸分裂初期において、TPPP のリン酸化を介して星状微小管の組織化と有糸分裂紡錘体の配向に関与する (PubMed:22328514)。in vitro において、ミエリン塩基性タンパク質およびヒストン (MBP) のセリン/スレオニン特異的リン酸化を示す (PubMed:8537403)。複数の経路を介して繊毛形成を抑制する。CFL1 のリン酸化、繊毛小胞の繊毛基部への方向性輸送の抑制、および YAP1 の核局在化を促進して TEAD4 標的遺伝子 AURKA および PLK1 の転写コリプレッサーとして機能することによる (PubMed:25849865)。

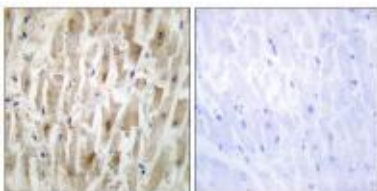
研究分野

シグナル伝達

画像データ



LIM キナーゼ 2 抗体を使用した HepG2、HUVEC 溶解物中の LIM キナーゼ 2 のウェスタンブロット分析。



LIMK2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト心臓組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用しました。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプルです。

LIMK2 抗体 (緑) を使用した Hela 細胞における LIM キナーゼ 2 の免疫蛍光分析。

